

第3編

弥富市デジタル田園都市構想 総合戦略







後期基本計画の重点戦略としての施策展開

令和4年12月23日に閣議決定されたデジタル田園都市国家構想総合戦略は、デジタルの実装を通じ、地域の社会課題の解決と魅力の向上を図っていく構想とされています。そして、デジタル田園都市国家構想基本方針を通じて、構想が目指すべき中長期的な方向性を提示し、地方の取組を支援するとしています。

一方、地方は、自らが目指す社会の姿を描き、自主的・主体的に構想の実現に向けた取組を推進し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すこととされています。

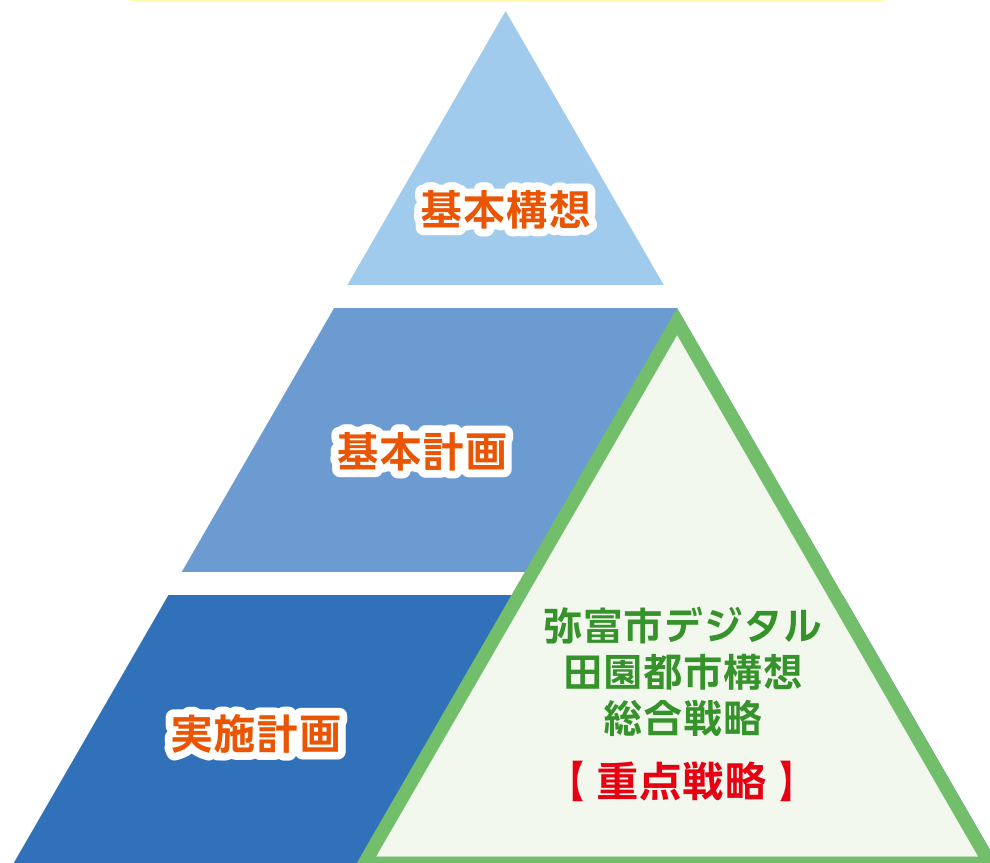
本市においては、これまで2期にわたる人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、基本目標、具体的な施策・KPIの設定による進捗管理を行いつつ、人口減少対策と弥富市らしい施策・事業の推進による地方創生に努めて、着実な成果を収めてきました。

第2次弥富市総合計画後期基本計画と同時期に策定する「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」については、後期基本計画に示している具体的な施策から「誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現するために、特に重要な施策を抽出し、まとめたものとなります。

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で市に求められている役割を踏まえ、後期基本計画で掲げた現状・課題を解決するための様々な施策の推進に当たり、「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」では、5つの重点戦略を掲げ、総合的・効果的・効率的に取り組んでいきます。

なお、「第2次弥富市総合計画」と「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」の関係は下図のとおりです。

第2次弥富市総合計画



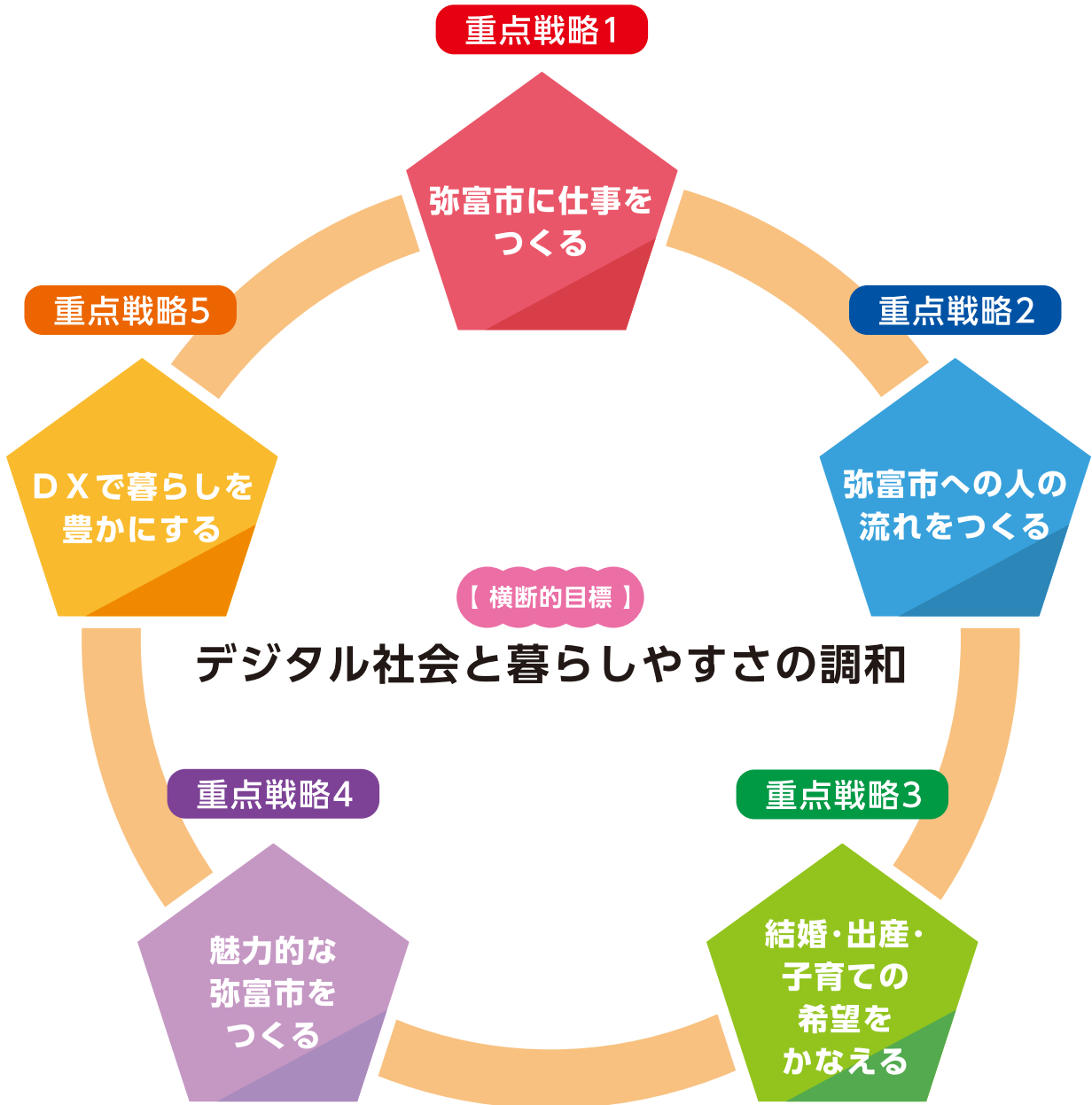
「弥富市デジタル田園都市構想総合戦略」の位置付け



総合戦略の全体概要

少子高齢化により人口減少が急速に進行している中、本市においては、新たな定住者を増やす取組を推進しつつ、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高め、“ひと”と“ひと”とが繋がることで安心感や賑わいを醸成するような施策を展開し、デジタルの力を活用しずっと住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

このことから、「多様な暮らしを支える“ひと”中心の持続可能なまち」を将来ビジョンとし、5つの重点戦略に横断的目標「デジタル社会と暮らしやすさの調和」を掲げ、推進していきます。



【将来ビジョン】

多様な暮らしを支える“ひと”中心の持続可能なまち

弥富市デジタル田園都市構想総合戦略の見方

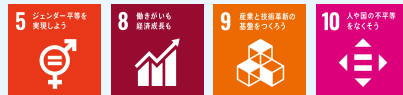
この計画は、後期基本計画に示す施策のうち特に重要なものを抽出し、5つの「重点戦略」ごとに下図の内容で構成されています。

① 関連するSDGs

当該重点戦略に関連のあるSDGsをそのロゴで示しています。

重点戦略1 | 弥富市に仕事をつくる

● 関連するSDGs



② 重点戦略の方針

当該重点戦略が目指す方針を簡潔に示しています。

数値目標

〇〇〇〇 : 〇〇〇〇
(□□□□□□□□□□)

③ 数値目標

当該重点戦略の各施策を進めることで実現すべき到達目標 (KGI : Key Goal Indicator/ 重要目標達成指標) を示しています。

④ 施策の方向性

当該重点戦略の中で取り組んでいく施策について、その方向性を記しています。

施策の方向性



⑤ 主な取組

施策の方向性に基づき、取り組んでいく事業を記しています。

主な取組

◇◇◇◇◇事業	◇◇◇◇◇事業
◇◇◇◇◇事業	◇◇◇◇◇事業

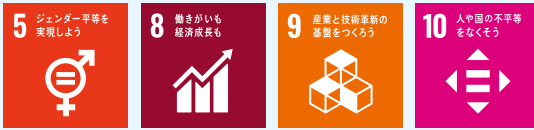
重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
◇◇◇◇◇◇◇	〇〇〇	△△△
◇◇◇◇◇◇◇	〇〇〇	△△△
◇◇◇◇◇◇◇	〇〇〇	△△△

⑥ 重要業績評価指標 (KPI)

事業実施の成果を測る一要素として指標を設定しています。(KPI は、Key Performance Indicator の略で、目標達成に向けたプロセスにおける達成度を把握し評価するための指標です。)

重点戦略1 | 弥富市に仕事をつくる

●関連するSDGs



- ◆ JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎化の整備を契機に、駅周辺の賑わいをつくりだすとともに、新産業エリアに位置付けられた西末広地区の新規企業立地の推進、新たな産業の育成など、農水産業を柱に発展してきた本市の特徴を踏まえつつ、港湾地域等における交通利便性を活かした企業立地を促進するなど、一層の産業振興を図ります。
- ◆ 安定した雇用の創出や多様な人材の確保・育成を図り、ワーク・ライフ・バランスの推進等による働きやすい環境を整備します。

数値目標

全産業における事業所数：2,088事業所
(令和3年経済センサス活動調査：2,078事業所)

施策の方向性1 産業の振興

- 地域産業の振興や新たな雇用機会の確保・創出のため、駅前及び駅周辺への魅力ある店舗の出店・創業や既存店舗の活性化を図ります。

主な取組

6次産業化活動促進事業	中小企業事業資金融資事業
企業立地推進事業	商工団体育成事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
6次産業化への取組件数	1件	2件
制度融資利用件数	23件	75件
信用保証料補助金交付件数	18件	65件

施策の方向性2 働きやすい環境の整備

- 女性、高齢者、障がい者、外国人等に関わらず誰もが、希望に沿った仕事に就けるよう、関係機関等と連携した就職相談や情報提供、事業所への啓発等を推進するとともに、家庭と仕事の両立ができる職場環境となるようワーク・ライフ・バランスの普及啓発を推進します。
- 学校教育において、職業観を養うとともに社会の中で生きていくために必要な能力を育むなど、キャリア教育を推進します。

主な取組

就職相談・情報提供事業	「ファミリーフレンドリー企業制度」・ 「あいっこ家庭教育応援企業」等普及事業
広報・啓発事業	英語指導者委託事業
職場体験学習事業	障がい者就業相談事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
ファミリーフレンドリー企業登録数	8件	12件
広報誌による啓発回数	6回	6回
職場体験受入れ事業所数	15事業所	100事業所

重点戦略2 | 弥富市への人の流れをつくる

●関連するSDGs



- ◆ リニア中央新幹線の開業により、愛知県が中心に位置付けられる人口7千万人のスーパー・メガリージョンが形成されることに伴い、本市の名古屋市との近接性や交通利便性等、恵まれた立地条件をより一層活かすため、駅周辺エリアの商業機能向上による魅力の創出を図ります。
- ◆ 観光拠点となる歴史民俗資料館やYaToMi AQUAのある弥富まちなか交流館への来館者を増やすため、市内外への情報発信を強化します。
- ◆ ミツ又池公園、海南こどもの国、名古屋競馬場等を活用した、まつりや金魚イベントを通して、本市独自の特色ある魅力を広めるとともに、関係人口の創出・拡大を図ります。

数値目標

人口社会増減数*：15人
(令和4年：2人)

* 転入者数から転出者数を差し引いた数

施策の方向性1 シティプロモーションの強化

- 弥富まちなか交流館を拠点に、市内の各施設との連携による観光施策を展開します。
- 移住者や子育て世帯等、ターゲットを明確にした施策パッケージ情報を積極的に発信します。

主な取組

観光PR事業	広域観光体制充実等事業
市ホームページ事業	

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
ホームページの閲覧件数	1,799,571件	1,900,000件
市公式SNS (X、LINE、YouTube) の登録件数	4,211件	5,000件

施策の方向性2 駅周辺における賑わい創出

- JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎化の整備とともに、駅周辺における商店街等への集客・交流を生み出すイベントによる賑わい創出を支援します。

主な取組

JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業	弥富駅周辺地区まちづくり事業
車新田地区土地区画整理事業	

重要業績評価指標(KPI)	令和4年度	目標値(令和10年度)
市街化区域面積	1,110ha	1,150ha

施策の方向性3 特産振興と地域資源の活用

- 本市の特産である金魚や文鳥等の観光資源や名古屋競馬場を始めとする市内スポットの回遊性[※]の確保等により、本市をPRしていくとともに、地域振興と賑わいの創出を図ります。

主な取組

地産地消促進事業	金魚関係団体活動助成事業
観光協会補助事業	市内イベント開催事業

重要業績評価指標(KPI)	令和4年度	目標値(令和10年度)
地産地消PR件数	4件	5件
各種団体による即売会件数	4件	9件
観光入込客数	560千人	710千人

※回遊性：来訪者が何か所も移動して楽しめる場所をつくり出すこと

重点戦略3 | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

●関連するSDGs



◆全国的に深刻さを増している少子化の背景には、経済的不安定さ、雇用に対する不安、子育ての孤立感・負担感等、様々な要因があり、それに加え、本市の人口動向の特徴として、20代は就職をきっかけとした転入超過、30～40代は結婚や出産を経た子育て世代の転出超過が見られる中、社会全体で、未来を担う若い世代や子育て世代への支援を進める取組を強化し、安心して子どもを産み、健やかに育める「こどもまんなか社会*」の確立を図ります。

数値目標

出生数：360人
(令和4年：333人)

施策の方向性1 安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備

- 結婚を希望する人の出会いの場の創出や、夫婦が希望する子育て環境の提供等により、男女ともに自由な意思決定に基づく結婚、子育てを実現します。
- 男性の育児休業制度の利用促進や子育てへの参画、女性の就業継続や出産後の復職等、子どもを産みやすい環境づくりを進めます。
- 子どもを産みたいと考える人の希望をかなえるため、妊娠・出産期から乳幼児期における母子保健の充実をはじめ、保育・教育の質の向上を図ります。

主な取組

結婚活動支援事業	ファミリー・サポート・センター事業
「ファミリーフレンドリー企業制度」・「あいっこ家庭教育応援企業」等普及事業【再掲】	子育て世代包括支援センター事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
婚活イベントへの参加者数	17人	50人
ファミリー・サポート・センター会員数	724人	820人
ファミリーフレンドリー企業登録数【再掲】	8件	12件

*こどもまんなか社会：子どもや若者の視点に立ち、子どもにとって最善の利益を第一に考え、当事者の意見を政策に反映する社会ビジョンであり、全ての子どもが権利を保障されながら幸せに暮らし、健やかに成長できるよう、社会全体で後押しすること

施策の方向性2 子育て支援の充実

- 保護者の就労形態の多様化に対応するため、未就学児の保育環境や児童クラブ等の充実とともに、保護者の利便性向上を図ります。
- 子育て世代が相談しやすい環境を整備し、育児不安の軽減や孤立化の防止に努めます。

主な取組

市立保育所民営化(認定こども園化)事業	保育所管理運営事業
一時預かり事業	児童クラブ管理運営事業
児童館管理運営事業	子育て支援センター管理運営事業
養育支援訪問事業	

重要業績評価指標(KPI)	令和4年度	目標値(令和10年度)
保育所による一時保育の件数	580件	800件
子育て支援センターにおける育児相談件数	54件	120件
養育支援訪問事業利用者数	1人	15人

施策の方向性3 教育環境の充実と多様な学びの場の提供

- 次世代を担う子どもたちの教育環境を充実させ、安全で快適に過ごせるようにします。
- 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の育成とともに、個性を生かす教育や、「生きる力」を育む教育を充実させます。
- 豊かな人間性を育むため、「心の教育」を推進し、学校と家庭、地域の連携を強化し、地域に開かれた学校づくりを進め、子どもたちの心の成長を支援する体制を整えます。

主な取組

情報機器整備事業	平和教育推進事業
いじめ問題対策事業	SC(スクールカウンセラー)配置事業
SSW(スクールソーシャルワーカー)設置事業	こども相談事業
放課後の居場所づくり推進事業	

重要業績評価指標(KPI)	令和4年度	目標値(令和10年度)
スクールカウンセラーの年間配置時間数	934.5時間	1,000時間
スクールソーシャルワーカーの年間配置時間数	1,110時間	1,500時間

重点戦略4 | 魅力的な弥富市をつくる

●関連するSDGs



- ◆ 近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震や多発する集中豪雨等の自然災害に備え、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策に取り組みます。
- ◆ 人生100年時代を生き抜くため、誰もが自分らしく暮らせるよう、性別、年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、個性や多様性が尊重され、いつまでも学び、様々な活動に参画できるようにすることで、生きがいを感じながら暮らせる環境づくりを進めます。
- ◆ 都市的機能の集約や公共交通等移動手段の利便性向上を図ることで、コンパクトなまちづくりを推進します。

数値目標

市への愛着度：75.0%
(令和4年度市民意識調査：70.6%)

施策の方向性1 危機管理が行き届いた災害に強いまちづくり

- 伊勢湾台風の水害を教訓に防災対策が強化され、その後に大きな水害はありませんが、風水害・地震等の自然災害に備えた防災・減災対策について、雨水排水対策をはじめ、市域の強靱化を推進します。避難体制の整備や、地域防災力の向上をめざした自主防災組織等の充実を図り、避難所の備蓄品や設備の整備を推進します。

主な取組

災害対策事務事業	防災施設管理事業
排水路管理事業	緊急時避難場所確保事業
自主防災組織活動支援事業	防災訓練・防災学習事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
津波・高潮緊急時避難場所の指定箇所数	58か所	75か所
防災訓練を実施した自主防災組織の数	17団体	60団体

施策の方向性2 人と人がつながるまちづくり

- 高齢者、障がい者、外国人等、誰もが孤立することなく自分らしい生活が送れるよう、分野に関わらず地域活動やネットワークづくりを目指します。
- 市内にある様々な人材や場所などの地域資源を市民のニーズとマッチングし、誰もが活路と活躍の機会を見出せる協働のまちづくりを推進していきます。

主な取組

協働のまちづくり推進事業	地域活動事業
ファミリー・サポート・センター事業【再掲】	ささえあいセンター事業
障がい者ボランティア活動補助事業	ヤトミーティングプロジェクト事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
市内NPO法人数	9団体	10団体
地域づくり補助金活用団体数	26団体	48団体
ファミリー・サポート・センター会員数【再掲】	724人	820人
ささえあいセンター事業活動時間	8,343時間	12,400時間
福祉ボランティア登録者数	84人	92人
地域資源バンクの登録件数	— 件	350件

施策の方向性3 地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり

- 市街地の拡散を抑制し、都市的機能が集約され、公共交通ネットワークが充実したコンパクトなまちづくりを推進していきます。

主な取組

JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業【再掲】	弥富駅周辺地区まちづくり事業【再掲】
車新田地区土地区画整理事業【再掲】	区域区分・用途地域見直し事業
コミュニティバス運行事業	

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
市街化区域面積【再掲】	1,110ha	1,150ha
コミュニティバス等利用者数	73,828人	100,000人

重点戦略5 | DXで暮らしを豊かにする

●関連するSDGs



- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会のデジタル化は急速に進展し、本市の行政運営においても、デジタル技術を有効的に活用し、様々な課題を解決するなど、「市民本位のデジタルで快適・便利なまち」の実現を目指し、取り組んでいきます。
- ◆ 本市では、行政のデジタル化をより一層推進し、AIやICT等のデジタル技術の活用によりDXを実現し、市民の利便性向上を図ります。

数値目標

行政手続の電子申請件数：300件
(令和4年度：10件)

施策の方向性1 DXによる市民サービスの利便性向上

- 行政手続のオンライン化を進めるとともに、市民に寄り添った利便性の高い行政サービスの提供に努めます。
- デジタル化の恩恵を受けづらい高齢者等の支援に取り組めます。

主な取組

コンビニ交付事業	道路台帳デジタル化事業
納税推進事業	市民なんでも相談窓口事業

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
証明書コンビニ交付件数	一件	7,500件
特殊車両通行許可申請に関する道路情報照会件数	436件	100件
市民なんでも相談窓口相談件数	一件	100件

施策の方向性2 デジタル化による行政運営の効率化

- 定型業務等にデジタル技術を活用し業務効率化を図ることで、相談業務、企画立案業務等、職員でなければできない業務に注力できる環境を構築します。
- DXの取組を推進するため、デジタル人材を確保・育成することが求められる中、職員の意識改革やICT活用能力の向上を図ります。

主な取組

業務改善運動	職員研修事業
情報セキュリティ研修事業	

重要業績評価指標 (KPI)	令和4年度	目標値 (令和10年度)
業務改善提案件数	0件	25件
情報セキュリティに関する職員の研修受講者数	16人	200人